



# 営農NEWS



## ショウガ栽培における病害虫の防除対策

ショウガは高温多湿の環境を好み、乾燥には弱い作物です。しかし、排水の悪い圃場では、地上部が生育しても根部の肥大が劣って腐敗も多くなります。このため、作土が深く、排水性に優れ、保水力のある肥沃な圃場が栽培に適します。また、日陰の場所でも葉色鮮やかに生育しますが、塊茎の肥大を促すためには高温、多日照が必要になります。

生育の適温は 25~30℃で、低温の限界は 15℃くらい、15℃以上の温度で萌芽します。寒さには弱く、10℃以下になると塊茎が腐敗しやすくなります。

ショウガ栽培において特に重要な病害は、**根茎腐敗病**です。本病は、前作の罹病した残渣が越冬して土壤伝染したり、感染した種根茎を植え付けることにより圃場に持ち込まれ、雨で圃場が浸冠水した場合に多発生し、感染株が拡大する傾向がみられます。防除対策として、①発病株の早期発見に努め、早めの除去、②圃場排水性の改善や高畦栽培、③感染していない健全な種根茎の使用、④生育中に有効薬剤の予防散布や発病初期の防除徹底、⑤発病圃場の土壤消毒などが必要になります。生育中の防除対策として、下記の表 1 を参考に、梅雨期などは特に防除の徹底に努めてください。その他、病害では紋枯病、白星病、軟腐病などがあります。

害虫では**アワノメイガ**やイネヨトウの幼虫が茎内に食入して萎れや芯枯れを生じ、多発すると株が枯死するので問題となります。幼虫が食入した被害茎の穴から鋸くず状の虫糞を出すのが特徴で、6月頃より発生しますが、特に被害の大きいアワノメイガは7月後半頃から目立ってきますので、早期発見と防除の励行が重要になります。その他では、ハスモンヨトウやネコブセンチュウなどの寄生することがあり、ハスモンヨトウは8月後半頃より発生する傾向です。

表 1 ショウガ根茎腐敗病の主な防除薬剤（令和元年 6月17日現在）

薬剤名	使用量または希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
オーソサイド水和剤 80	塊茎重量の 2%を塊茎粉衣	植付前 / 1回	M4
	400倍 (3ℓ/m <sup>2</sup> 灌注)	(生育期) 収穫 30日前まで / 2回以内	
ユニフォーム粒剤	18 kg/10a (生育期土壤表面散布 または定植前作条土壤混和)	収穫 30日前まで / 3回以内	11 と 4
ランマンフロアブル	500~1,000倍 (2~3ℓ/m <sup>2</sup> 土壤灌注)	(生育期) 収穫 30日前まで / 3回以内	21
	500倍 (1~3ℓ/m <sup>2</sup> 土壤灌注)		
プレビクールN液剤	400~600倍 (3ℓ/m <sup>2</sup> 土壤灌注)	(生育期) 収穫 30日前まで / 5回以内	28
オラクル顆粒水和剤	2,000倍 (1~3/m <sup>2</sup> 土壤灌注)	(生育期) 収穫 3日前まで / 3回以内	21
	3,000倍 (3ℓ/m <sup>2</sup> 土壤灌注)		

注) 表 1 および 2 の分類欄には FRAC、表 3 には IRAC コードを記載しました。同一分類 (コード) は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表 2 ショウガ紋枯病、白星病、軟腐病の主な防除薬剤（令和元年 6月17日現在）

対象病害			薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
紋枯病	白星病	軟腐病				
○	○		ダコニール 1000	1,000倍	収穫 14日前まで / 5回以内	M5
○			バリダシン液剤 5	800倍	収穫 14日前まで / 4回以内	U18
○			モンカットフロアブル 40	2,000倍	収穫 3日前まで / 5回以内	7
	○		トリフミン水和剤	1,000倍	収穫前日まで / 5回以内	3
	○		オーソサイド水和剤 80	600倍	収穫 3日前まで / 2回以内	M4
		○	Zボルドー	500倍	- / -	M1

表 3 ショウガのアワノメイガ、ハスモンヨトウの主な防除薬剤（令和元年 6月17日現在）

対象害虫		薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
アワノメイガ	ハスモンヨトウ				
○	○	トルネードエース DF	2,000倍	収穫 7日前まで / 3回以内	22A
○	○	フェニックス顆粒水和剤	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	28
○	○	アクセルフロアブル	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	22B
○		スカウトフロアブル	1,500倍	収穫前日まで / 5回以内	3A
○		デミリン水和剤	1,000倍	収穫前日まで / 3回以内	15
○		オルトラン水和剤	1,000倍	収穫 45日前まで / 2回以内	1B
○		パダンSG水溶剤	1,500倍	収穫 7日前まで / 5回以内	14
	○	コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	13

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040